

News Release

”素材＝地球資源”をテーマとした R&D プロジェクト 『material record』

第一弾のプロダクト 「noon by material record」 を発表

乃村工藝社が取り組むサステナブルデザインの一端を担う新プロジェクト

株式会社乃村工藝社（東京都港区）は、2022年より取り組む R&D プロジェクトの一環として、“素材＝地球資源”をテーマとした「material record（マテリアルレコード）」を立ち上げ、その第一弾プロダクトとして **2024年12月13日（金）に、音響装置「noon by material record（ヌーンバイマテリアルレコード）」** を発表します。地球を構成するさまざまなサステナブル素材に目を向け、”音”と“素材”を結びつけた同プロダクトは、空間設計を得意とする乃村工藝社グループの創造性が詰まった、体験型アートピースです。



material record（マテリアルレコード）は、乃村工藝社グループが進める素材＝地球資源をテーマとした R&D プロジェクト。大量の資源を消費する建築・内装業界において、素材を起点に様々なサステナブルな研究・開発を行っています。その第一弾プロダクトとなる「noon by material record（以下、noon）」は、建築廃材、海岸に漂着したプラスチック片、デニム端材、ロケット開発で役目を終えた燃料タンクなど、サステナブル・マテリアルを活用してスピーカーを制作し、音響体験を通して素材の新しい価値観を生み出すことにチャレンジしています。

今回発表する同プロジェクトにとって初めてのプロダクトは建築物を思わせるような柱を意匠として施し、計9種のマテリアルを組み込んだ、帯域の異なる6つのスピーカー、真空管アンプなどの積層から成り立ちます。固有のストーリーや記憶を内包した筐体から発する音が素材の特性を反映することで、素材のむこうにある風景、資源に目を向けるきっかけをつくります。

■ 「noon」を構成する様々なサステナブル・マテリアル

海洋ごみや廃棄プラスチックを活用した再生素材

様々な産業から出る廃棄物や、海岸に漂着した海洋ゴミなどを粉砕し板状に固めた複合樹脂素材。フィルムカメラの現像後に出る容器を粉砕したものや薬品・菓子類のパッケージから出る廃棄包材、海洋プラスチックごみ等を再生しています。使用する素材の色や粒子のサイズによって、二つとない表情を持つ板が生まれます。



100%食品廃棄物を原材料とした自然由来の新素材

規格外野菜や食品廃棄物を加工して作られた新素材。食品廃棄の課題解決に寄与する素材で、100%自然由来のため使用後は土に還ります。また素材が持つ香りが残るのが特徴です。



デニム端材をアップサイクルした左官材

国内のデニム工場から排出される端材を粉砕し、左官材へアップサイクルされたマテリアル。接着剤を使用せずに製作が可能で、水を含ませ剥がせば再利用可能という特性を持つ循環型素材です。



<その他の使用マテリアル>

- コルクとウールの廃棄物からつくられたフェルトのような生地
- 再生材のアルミハニカムパネル
- 再資源化した人工砂を主原料としたセラミックス造形材
- 埼玉県南西部で間伐された未利用木材
- スリランカで採掘された天然石の複合板
- 数十年掛けて生成される緑青を6時間で生成させた銅板

※ その他のマテリアルの詳細については別添資料をご覧ください。

2024年12月13日（金）～15日（日）

MIDNIGHT PIZZA CLUB Special Exhibitionにて「noon」を設置

今回の発表に際し、俳優の仲野太賀氏・TVディレクターの上出遼平氏・写真家の阿部裕介氏の3名による旅サークル『MIDNIGHT PIZZA CLUB』とのコラボレーションが決定しました。2024年12月12日に発売される、旅の記録をまとめた書籍『MIDNIGHT PIZZA CLUB 1st BLAZE LANGTANG VALLEY』の出版記念イベントに、音響装置「noon」を設置します。12月13日～15日に開催される同イベントでは『MIDNIGHT PIZZA CLUB』が旅の途中で撮影したネパールの写真が展示されるほか、上出遼平氏が旅先で収集した音源から制作したアンビエント・サウンドを「noon」でお聴きいただけます。

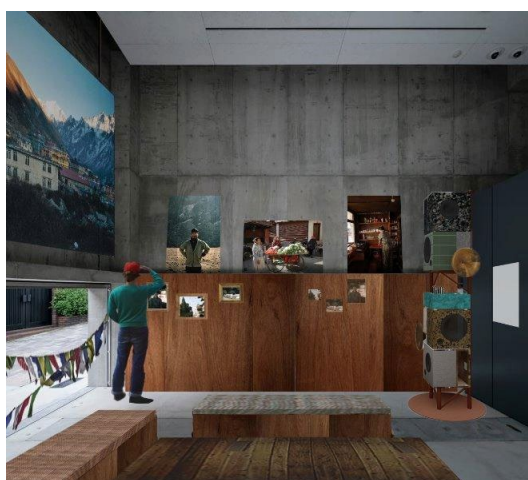
MIDNIGHT PIZZA CLUB について

仲野太賀・上出遼平・阿部裕介により結成された旅サークル。ヒマラヤ山脈に位置するランタン谷を歩いた旅を綴った書籍第一弾が2024年12月刊行。第二弾にアメリカ北東部アパラチア山脈の旅、第三弾にニュージーランドの旅をまとめた書籍を刊行予定。

■ MIDNIGHT PIZZA CLUB Special Exhibition 開催概要

◇日時：2024年12月13日（金）～15日（日）11:00～18:30

◇場所：StandBy 東京都渋谷区神宮前5-11-1 <https://maps.app.goo.gl/xECxDd2Et5NCxS4e7>



乃村工藝社グループが推進するサステナブルデザイン

乃村工藝社グループ全体が進めるソーシャルグッド R&D は、「環境」、「文化」、「地域」、「人」の4つの活動領域で活動を展開しています。地域環境の保全やサステナブルな空間創造、アートとの共生、地域の活性化など、さまざまな角度から社会課題の解決と事業の両立を図り、新たな価値を創造することを目指しています。

内装建材が環境に与える影響は極めて大きいため、乃村工藝社グループは今後もサステナブル・マテリアルに注目し、その利用促進を図っていきます。人々や社会に、喜びや感動、幸せを届けるため、今後もクリエイティブな発想と挑戦的な技術開発を通じて、社会課題の解決に貢献していきます。

今回発表した「noon」は、スピーカーの筐体を構成するマテリアルを他素材に置換することも可能で、例えば地域や企業から排出される未利用資源や廃材を使った新素材を開発するなど、今後の展開も期待できます。この度の「MIDNIGHT PIZZA CLUB Special Exhibition」を第一歩として、今後も様々な場所でポップアップ展示等を企画し、人々との接点を創出していく予定です。

<お問い合わせ先>

Material Record 広報担当：material_record@nomura-g.jp

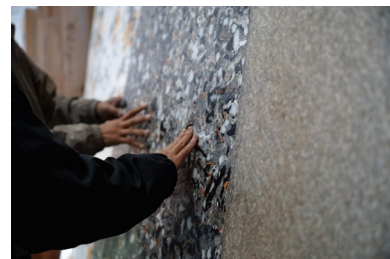
参考) <https://rd.nomurakougei.co.jp/project/sustainable/page/material-record>

別添資料

「noon by material record」を構成するマテリアル詳細

海洋ごみや廃棄プラスチックを活用した再生素材

様々な産業から出る廃棄物や、海岸に漂着した海洋ゴミなどを粉砕し板状に固めた複合樹脂素材。フィルムカメラの現像後に出る容器を粉砕したものや薬品・菓子類のパッケージから出る廃棄包材、海洋プラスチックごみ等を再生しています。使用する素材の色や粒子のサイズによって、二つとない表情を持つ板が生まれます。



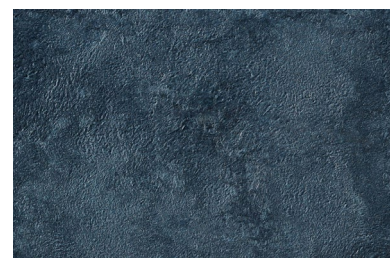
100%食品廃棄物を原材料とした自然由来の新素材

規格外野菜や食品廃棄物を加工して作られた新素材。食品廃棄の課題解決に寄与する素材で、100%自然由来のため使用後は土に還ります。また素材が持つ香りが残るのが特徴です。



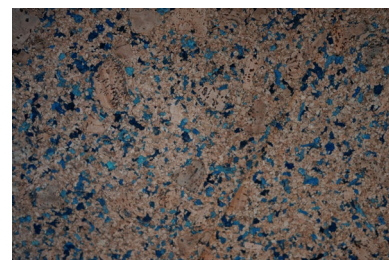
デニム端材をアップサイクルした左官材

国内のデニム工場から排出される端材を粉砕し、左官材へアップサイクルされたマテリアル。接着剤を使用せずに製作が可能で、水を含ませ剥がせば再利用可能という特性を持つ循環型素材です。



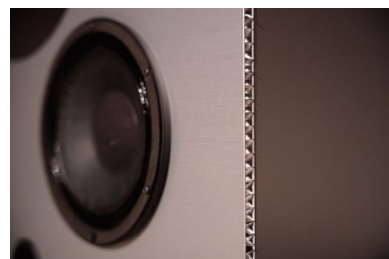
コルクとウールの廃棄物からつくられたフェルトのような生地

ポルトガルの伝統的な素材であるコルクとウールの廃棄物から作られたフェルトのような生地「Burel Cork Wall」。2つの異なる産業から生まれた廃棄物がコラボレーションした新しいアップサイクル素材です。



再生材のアルミハニカムパネル

航空機の軽量化を目的に開発され、建築・インテリア業界でも幅広く採用されている強度・剛性に優れた構造素材。従来のアルミニウムは製造過程で大量の電力を消費しますが、リサイクルすることにより CO2 排出量を 1/5 以下に低減させます。



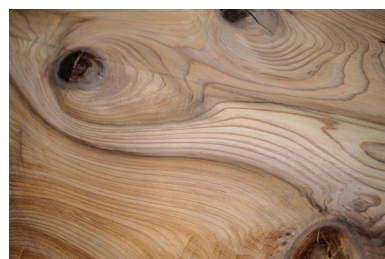
再資源化した人工砂を主原料としたセラミックス造形材

ガラス窯の耐火物製造工程で生じる副産物を再資源化した人工砂を主原料とした陶磁器素材。3D プリンタで自由な形状を製造可能で金型が不要になるため、廃棄物削減にも寄与する素材です。



埼玉県南西部で間伐された未利用木材

埼玉県南西部に位置する西川林業地で、何世代にもわたり受け継がれた良質な木材。部分的な腐敗のため出荷することができない未利用木材を活用しています。



数十年掛けて生成される緑青を6時間で生成させた銅板

雨と呼吸し、時とともに深みを増す緑青。その美しく変化した緑青銅板を内装空間でも親しんで欲しいという思いから、独自の生成技術に磨きをかけ、緑青を短時間で実現。自然の恵み「雨」を感じることが出来ます。



スリランカで採掘された天然石の複合板

地球のマグマが地下深くでゆっくり冷却され、地中の高い圧力によって形成された石(花崗岩)。硬度が高く比重も大きい上に、風化に強く吸水率が低いので、耐久性に優れた石材として広く建材に使用されています。厚さ4mmの複合板とすることで、軽量化と天然資源の確保をしています。



以上